

U-net通信

2018年1月
Vol.98

あとから来る者のために
坂村 真民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれを傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ

発行:認定NPO法人 地球環境共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 <http://www.unet.or.jp> 編集人:大山正治/発行人:比嘉照夫


EMによる国づくり

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

理事長 比嘉照夫

旧年における皆様方の多大な活動に、改めて感謝し、今年の方針を図りたいと思います。
 昨年の9月に、EMの真実である「愛と微生物のすべて」を森美智代さんと白鳥哲さんとの共著で、ヒカルランドから出版しました。この本は、「新量子力学入門」となっていますが、EMを使っている人なら、何となく感覚的に理解できますが、繰り返し繰り返し読むことによって、すべてが理解できるプロセスとなっています。従って、EMの新原典として活用することが可能であり、U-ネットの未来像、すなわち、EM国のあり方についても明らかにしています。

善循環の輪の集いは、昨年の11月19日宮崎市佐土原で行われ、記念すべき100回目の節目を迎えました。宮崎の元世話人の黒木久善さんも100歳となり、連日、仙人的な活躍を続けており、U-ネット会員の模範となっていますが、EMの化身とも言える着実な成果を重ね続けています。



EM讃詞

EMさんごめんなさい
 EMさんありがとう
 EMさんお願いします
 重力波、善循環、蘇生
 (3回繰り返す)
 EMさんありがとう
 EMさん大好きです
 EMさん愛しています

12月9日、三重県で行われた善循環の輪の集い101回目からは、EMの原典となる「愛と微生物のすべて」の51頁に述べてある「比嘉セオリー(説)」とEM讃詞に従って、EMの最新情報を開示することができました。その進化を踏まえて、従来の活動を飛躍的に社会化する方向で、U-ネットの組織を効率的に発展させたいと考えています。理事による執行委員会やEM実践女子会の発足は、その準備体制となるものですが、EM研究機構やEM生活社等々の協力体制を更に強化し、日本をEMのモデル国家にすべく、具体的な取り組みを開始します。

EMの新原典の活用によって、会員の皆様方のEM力が限界突破的に高まることを期待しています。

①会員に対するEM技術のスキルアップ

日進月歩のEM技術情報を善循環の輪の集いはもとより、EMウェルネスクラブの機能を更に強化し、会員各々のEM力の向上を革新的に進め、各々が地域の環境や健康を守る指導士的な役割を担えるような仕組みを強化します。

②広域の水圏環境改善対策

三河湾や東京湾をはじめ、EMによる水圏の改善対策は着々と進んでいます。水系におけるEMの結核技術の確立によって、広域な水圏の環境改善対策も低コストで容易に実行することが可能となりました。

今年はこれまでのプロジェクトに加え、高知県須崎市の浦ノ内湾の浄化に取り組めます。かつては真珠の養殖も行われていましたが、市の協力を得て数年以

内にそのレベルに達するようにしたいと思います。

③EM技術による福島復興支援

第7回環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス2017」(2017年11月25日)で、EMによる放射能汚染対策はもとより、農業、環境、健康等に対する活用は確たるものになりました。今年は、その成果を更に広げ、世界的なモデル作りを進めます。

④福祉施設や学校におけるEM活用の強化

EM技術の進化によって、福祉施設や学校における活用が多様化できるようになってきました。その基本は、良質の活性液や整流炭の応用等々ですが、より安全で快適、低コスト、高品質で持続可能となりました。多くの会員の皆様方の善循環の蘇生活動を期待しています。



第7回うつくしまEMパラダイス ますます充実した内容に

取材／大山

昨年 11 月 25 日 (土) 第 7 回東日本大震災復興支援「うつくしま EM パラダイス」が福島県福島市の「福島県教育会館」で開催され、福島県内外から 200 名超が参加した。ベラルーシ国立科学アカデミーや EM 研究機構の研究成果発表、脳神経外科医の杉本一朗氏による医療講演、EM による成果の事例発表 5 件、比嘉照夫教授の特別講演と 5 時間の長時間にも関わらず、観客の多くは熱心に耳を傾けメモをとっていた。

今回、地元福島 of EM 栽培米 2kg が入場時に抽選で 60 人に当たる催しもあり、比嘉教授の最新著書と EM 愛好者自身が書いた絵本の販売もあり、ますます充実した内容となった。



▶ 好評だった EM 栽培米の抽選コーナー

農作物への放射性物質移行抑制ばかりか収量増と品質向上にも ベラルーシ国立科学アカデミー

放射能対策での研究成果発表は、ベラルーシ国立科学アカデミー放射線生物学研究所のチェシク所長と同研究所放射線生態学研究室のニキティン室長による研究発表であった。

内容は土壌への EM 活性液と EM ボカシの散布が放射性セシウムや放射性ストロンチウムの農作物への移行が抑制されるばかりか、収量増や品質の向上も認められた。

また、放射能汚染されたラットに EM 活性液や EMX ゴールドを飲用させたところ、体内からの放射性物質の排出促進効果が認められた。



▶ ベラルーシ国立科学アカデミーの発表者の方々ほか

EM は土壌中のセシウムが物理的減衰率よりも 1.8 倍大きく減衰させる EM 研究機構

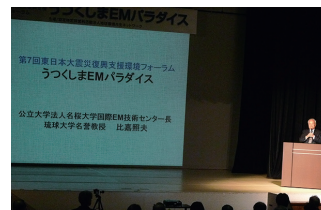
EM 研究機構の奥本秀一博士による研究の経過報告が行われた。福島原発事故直後から始まった EM による放射能汚染対策は今年 7 年目を迎えている。これまでも、EM や EM 発酵堆肥が放射性セシウムの畑作物や牧草への移行抑制に効果があると報告してきた。今回

は水田稲作での EM 施用について研究成果を発表した。内容は EM の継続使用は土壌中の放射性セシウムの玄米への移行が抑制されることと、EM を使用するとセシウムが物理的減衰率と比べ 1.8 倍も顕著となることが認められた。

※物理的減衰率とは、セシウム 134 は半減期が 2 年、137 は 30 年とされる学説。

整流炭や塩活用研究もあり中身が濃くなってきた事例発表

ここ数年の事例発表は継続的な EM 使用の時系列的な成果を発表するという形で行われている。事例発表は、①馬場 EM 研究会による「増収に手ごたえ EM 活用累積効果」、②瀧澤牧場による「EM 活用で粗飼料の自給が可能に」、EM の微笑みによる「全体幸福の実現化へ!」、郡山 EM グループによる「福島を EM で実現させる私の夢」、EM 柴田農園による「進化する EM 技術が支える安全高品質の農産物」の順で、それぞれが自身の経験に基づく EM 活用の事例発表が行われた。



▶ 200 名超の参加者の前で講演する比嘉照夫教授

比嘉教授と杉本医師は相変わらず大好評

会場に集まった多くの方々には健康問題には非常に関心が高く、杉本一朗医師による「予防医学と腸内フローラ」は大好評であった。図やグラフを多用し、大変分かりやすく、海外事情との比較もありアンケート提出者の大半が大変良かったとの感想だ。

観客が待ち望む比嘉照夫教授による「EM 最新情報」は整流技術による栽培、河川浄化、鳥獣害対策や最新著書「愛と微生物のすべて」での新量子力学入門の話などは、イベントの最後にもかかわらず観客の多くは、目を輝かせながら聞き入っていた。



▶ 比嘉教授の最新著書と絵本の販売コーナー

DVD 化された EM 活用事例映像集

～ 社会福祉施設 (病院、障がい者施設、介護施設) 支援編 ～

取材／杉山



野田病院 (千葉県野田市)



朝霞厚生病院 (埼玉県朝霞市)



障がい者支援施設 光風荘 (茨城県石岡市)



障がい者自立訓練・就労支援センター
アルムの里 (愛媛県松山市)



障がい者支援施設 しくなげ荘
(高知県長岡郡本山町)



介護老人保健施設 西安 (愛媛県松山市)



DVD「あとから来る者のために」は全国のボランティア団体の支援にご利用ください。
本DVDは1枚500円でお求めいただけます。ご購入のお申込みは、U-ネット事務局・
伊藤までご連絡ください。

また、以下のURL (YouTube) でも映像をご覧いただけます。

<https://youtu.be/nMcIOZMFKCM>



QRコードの利用方法:

QRコードは、正方形の画像に数字や文字の情報を含んだコードのことをいいます。最近ではWebサイトのURL情報をQRコード化し、携帯電話やスマートフォン(以下、スマホ)、タブレット等でQRコード画像を読み取ることによって、複雑で長いURLを文字入力することなく、目的のサイトを表示させることに利用されることが多くなっています。

携帯電話やスマホ、タブレット等でQRコードを読み込むには専用のアプリが必要になります。機種によっては最初からインストールされているものもありますが、お手持ちの機器に読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」で、Androidは「Google play」で、「QRコード」と入力して検索し、インストールしてください。

インストールが完了しましたらアプリを起動してください。起動すると、お手持ちの機器がカメラの撮影モードになります。アプリによっては、「QRコードの読み込み」といったメニューが表示されるものもございます。その場合は、そこをタップしてください。アプリが起動すると画面内に大きな四角の枠が表示されます。その枠内に収まるようにやや大きめにQRコードを映してください。QRコードが正確な読み取り位置にできれば一瞬で読み取ってくれます。読みとったQRコードからURLが表示されますので、そのURLをタップすると目的のWebサイトが表示されます。アプリによっては、読み取った瞬間にWebサイトが表示されるものもあります。



右の画像は地球環境共生ネットワークのホームページ(トップページ)のQRコードです。U-ネットホームページのQRコード
お手持ちの機器でQRコードを読み取り、Webサイトを表示させてみてください。

**平成30年度 U-ネット 年間主要行事計画**

下記は平成30年1月現在の予定です。変更される場合がございますので、ご了承ください。

開催日	行 事 名		
2月24日(土)	U-ネット第19回通常総会	8月 5日(日)	世話人特別講座(東海北陸地区)
4月21日(土)	善循環の集い(熊本)	9月29日(土)	善循環の集い(茨城)
22日(日)	世話人特別講座(九州沖縄地区)	30日(日)	世話人特別講座(関東甲信越地区)
6月 2日(土)	善循環の集い(群馬)	10月 6日(土)	善循環の集い(宮城)
30日(土)	善循環の集い(広島)	7日(日)	世話人特別講座(北海道東北地区)
7月16日(月・祝日)	全国一斉EM投入	20日(土)	善循環の集い(愛媛)
28日(土)	善循環の集い(岡山)	21日(日)	世話人特別講座(四国地区)
29日(日)	世話人特別講座(近畿中国地区)	11月17日(土)	第8回環境フォーラム
8月 4日(土)	善循環の集い(福井)	12月15日(土)	善循環の集い(沖縄)

i n f o r m a t i o n

事務局からのお知らせ**■これから主要行事のご案内■****■NPO法人地球環境共生ネットワーク 第19回通常総会**

日時 日時: 2月24日(土) 13:30~17:00 (18:00~交流会)

会場 TKP 田町カンファレンスセンター 2階会議室

住所: 〒108-0014 東京都港区芝5-29-14 田町日エビル

電話: 03-3456-2750

アクセス: JR山手線・京浜東北線 田町駅三田口(西口)徒歩5分

都営三田線 三田駅A3出口徒歩3分

都営浅草線 三田駅A3出口徒歩3分

■事務局人事異動のお知らせ■

平成30年1月1日付人事異動につきまして、下記の通り、お知らせいたします。

伊藤由規 (旧役職)事務局次長 (新役職)事務局長